

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Foster		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年3月13日		～ 2026年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様ひとり一人の発達段階や特性・得意・苦手な部分を把握し、個別支援計画に基づいた支援を行い、個々のニーズに応じた支援を提供できていること	アセスメントや日々の記録をもとに、子どもの特性や課題を整理し、支援内容や課題の難易度を個々に合わせて調整している。スモールステップで課題設定を行い、成功体験を積み重ねられるよう支援方法を工夫している	職員間でのケース検討や支援方法の共有をさらに充実させ、支援の質の向上と支援方法の統一ができるようにする。また研修等に参加し、専門性を高め、よりここに特性に応じた支援が行えるよう努めていく
2	お子様が安心して過ごせる環境を整え、個別支援だけでなく、集団活動を通して、社会性やコミュニケーション力を育てる支援を行っている	活動の流れを視覚的に示すなど、見通しを持てる環境づくりを行っている。また集団活動ではルールや役割を分かりやすく伝え、成功体験や達成感を感じられるよう活動内容や支援方法を工夫している	お子様同士の関わりやコミュニケーションを育てる活動内容をさらに充実させ、社会性や協調性を育てる支援を充実させていく。また環境設定などの工夫についても継続して見直しを行っていく。
3	保護者との情報共有や相談支援を大切に、家庭と連携しながらお子様の成長を見守ることができている	送迎時の情報共有やラインでのその日の活動の様子・面談等を通してお子様の様子や成長を丁寧に伝えている。また、保護者の困りごとや不安に寄り添い、家庭でも取り組める関わり方を一緒に考えるなど、相談しやすい関係作りを意識している	保護者への情報提供や相談の機会をさらに充実させ、家庭と事業所が同じ方向で子供を支援できるよう連携体制を教科していく。また、保護者へのペアレントトレーニングも引き続き開催していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が情報交換や交流を行う機会を十分に設けることができていない	日程調整の難しさ、送迎時のみの関わりが中心となっているため、保護者同士が交流する機会を設けることができていないことが要因として考えられる。また事業所として交流の場を企画・運営する時間の確保が難しいことも理由の一つとなっている。	保護者会や交流会、勉強会等の開催を検討し、保護者同士が情報交換や交流できる機会を設けていく。
2	職員や専門性向上のための外部研修や内部研修の機会が十分に確保できていない	日々の支援業務が中心となり、研修参加のための時間調整や人員配置が難しいことが原因と考えられる。また研修情報の収集や計画的な研修体制が十分に整っていないことも要因の一つ	外部研修の情報収集を行い、計画的に研修へ参加できる体制を整えていく。また研修に参加した職員が内容を共有する内部研修や勉強会を実施し、事業所全体の専門性向上につなげる
3	定期的な通信の発行やホームページ・SNS等を活用した情報発信が十分に行えておらず、活動内容や行事予定、事業所の取組等を保護者へ伝えきれていない。	情報発信の時間の確保が難し事や、担当者が明確になっていないことも要因の一つ	担当者決め、定期的に行うことができる環境を整えるよう努める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Foster	公表日				年	月	日	回収数	13
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1		2	・預けているが楽しかったといつも言ってくれている。 ・見たことないから	嬉しいお言葉をありがとうございます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			3	外へ行くときは、何か決まったルールはありますか？ 子供の連れ去りなどの事件も多いので、可能でしたら必ず男性・女性の先生二人ペアで連れて行く、などご配慮いただけますと、とても安心です。 男性がいる、というだけで十分な抑止力になると思います。	ご意見・ご質問ありがとうございます。お出かけの際には子どもの人数にもよりますが、男性職員2名・女性職員2名が行くようにしております。なるべく、お子様お一人に対して職員一人がつけるように対処しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1		3	あまり中に入らないので分からないです。	ご意見ありがとうございます。子どもたちが活動しやすいように視覚的に区切るなどの工夫をしております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			2	迎えに行く時も綺麗です。	嬉しいお言葉をありがとうございます。お子様が快適に過ごしていただけるように努めております。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1		1	・気に入った遊びを続けてくださったがり、その日の様子などを詳しくご連絡いただけるのでとても助かっています。 特に写真でどのようなもので遊んだのか・学んだのが見える化されているので、参考になります。 ・遊びながら訓練をしてくれるので安心して預けている。 ・比較対象がない	嬉しいお言葉をありがとうございます。お子様の特性を理解しながら、さらに興味の幅を広げ、様々なことに対してチャレンジしていける素地を形成したいと思っています。ご自宅でもぜひ取り組んでいただけるようにラインやモニタリングの時には共有させていただけるように努めてまいります。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1		1	公表しているプログラムを知らない	ご意見ありがとうございます。また公表プログラムはTSコーポレーションのホームページにも記載されておりますのでご覧いただければと思います。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1			・いつも丁寧にヒアリングして頂き、それにもなった内容になっている。 ・作成していただいた書類を確認してサインしていますが、いつまわんわんと顔きながらサインしてます。	嬉しいお言葉をありがとうございます。お子様の特性理解と保護者様のお子様への思いをくみ取り支援計画に反映しているよう努めてまいります。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1		1	・本人の様子をみながら対応して頂いていると思う。 ・支援されている状況を見てない	嬉しいお言葉をありがとうございます。お子様が「やりたい」「もう一回したい」と思える課題や支援に努めてまいります。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			1	・映画鑑賞やクッキング、工作など、家ではなかなかやらないことも経験させてもらい、ありがたいです。 ・日々の内容を見る限り	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後も様々な活動を通して経験を増やして頂けるように努めてまいります。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	2	3	知らない	ご意見ありがとうございます。今後様子をみて交流できる機会を持つことができるよう努めてまいります。		
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12			1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	2		情報は送って頂いているが、対象の年齢でなかったり仕事等で参加できていない。	ご意見ありがとうございます。次年度も他事業所と合同で時間を変更したり、幅広い年齢の方にご参加頂けるよう工夫してまいりますと思います。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9	2		2	LINE使用し、こまめにできていると思います。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後も保護者の方へ成長した点などをお伝えしながら一緒に見守っていただけるよう努めてまいります。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1		2				

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			2	見てないから	ご意見ありがとうございます。お子様のその時々言葉一つひとつを大切にしながら関わることを大切にしております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	2	4	きょうだいについては知らない	ご意見ありがとうございます。今年度はペアレントトレーニングの開催や、夏祭りの開催など保護者の方やきょうだいの方への支援をさせていただきました。次年度も引き続き開催できればと思います。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				2	相談や申し入れをしたことがない	ご意見ありがとうございます。保護者の方からラインにてご相談を受けた際には即日にお返事できるように努めております。今後は皆様に周知していただけるように努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1				預けた後、ラインでその日の様子を伝えてくれて写真または動画も送っていただいています。その動画を一緒に見ると、これ楽しかった。またこれで遊びたい。と言って振り返りを出来るのでありがたいです。	嬉しいお言葉をありがとうございます。その日の様子をお子様と一緒に共有していただけるようにお伝えしております。今後もお子様とやりとりの一つとしてご利用頂ければと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	4			1	SNSはチェックしておらず分からないが連絡はしっかりされていると思います。	ご意見ありがとうございます。インスタグラムを1か月に数回更新させていただいております。よろしければご覧ください
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	3			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1	1		7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2			2	・まだそういった事案がないため。 ・経験がない	ご意見ありがとうございます。けがをした際には、保護者の方にご連絡させていただきその後、病院や処置などの対応をさせていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					家から家に行くみたい喜んでます。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後も安心してご利用していただけますよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1				今日は、フォスター行かない日って聞くとくらくら楽しんでいます。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後もお子様一人一人が好きな活動を通して成長していただけるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1				・いつも笑顔で迎えてくださり、親としても楽しみに通っています。 みなさんと楽しく過ごすことで、子供にいい経験になっていけば嬉しい限りです。 これからもよろしく願っています。 ・大変満足しています。 ・発達が伸びていることを感じるので、楽しんで行ってほしい	嬉しいお言葉をありがとうございます。お子様の成長を近くで感じることができ、大変嬉しく思います。お子様が楽しみながら成長できる課題や環境づくりに職員一同努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Foser		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2		人数に対して部屋が狭く感じる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		・職員に休みが出ると人手が足りず、子供たちの対応が丁寧にできずにもどかしいことが度々あります。 ・足りてないと感じる日が多い。子供の方が多い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		・トイレのドアだけがをしなないと不安です。 ・トイレや手洗いのサインがあると良い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			個別部屋の大切さを日々感じる	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1			
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		もう少し共有やその日の取り組み、目標計画を周知し連携が取れたらと思います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		それぞれの視点の違いを生かせるような共通認識として考えられるツールがあればと思います。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		チームではなく個々の取り組みだと感じる	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		・もう少し変化がほしい。 ・新しいチャレンジが必要。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		職員全員ではないと感じる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			医療機関はあまりない
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
4	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	4		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			保護者会として茶話会や親子ワークショップなどができたらと思います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	2		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。					